

森のおくりもの7月



ミヤマクワガタ (クワガタムシ科)



写真：黒川周子

梅雨明けが待ち遠しい時期となりました。今年の梅雨明けはいつになるかわかりませんが、そのあとはいよいよ本格的な夏の到来です。トンボやセミなどの多くの虫たちに加え、ヤマユリやクルマユリなどの多くの夏の花々が観察できる時期でもあります。まだまだ雨の日は続くとは思いますが、それはそれで森の中では楽しめるものです。雨が降っても自然観察の森でお待ちしております。

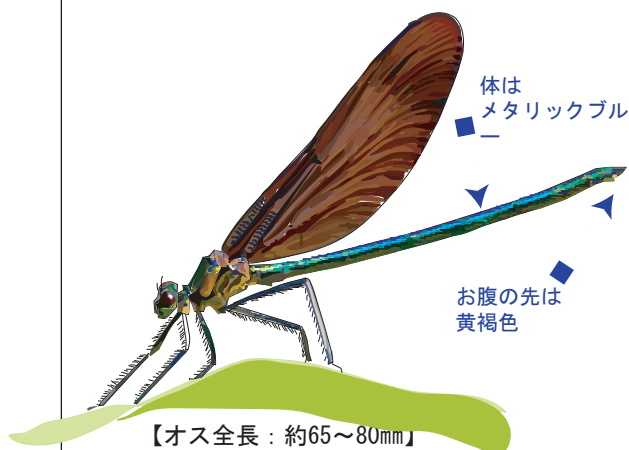
(館長 菊池正行)



6/29にヨシの湿地でオニヤンマが羽化していました。トンボの季節ですね。今回はトンボの沢や道路沿いなどで、赤褐色の翅をゆっくり開閉させながら優雅に飛ぶ、美しい**ミヤマカワトンボ**を紹介します。

日本最大のカワトンボ

ミヤマカワトンボ



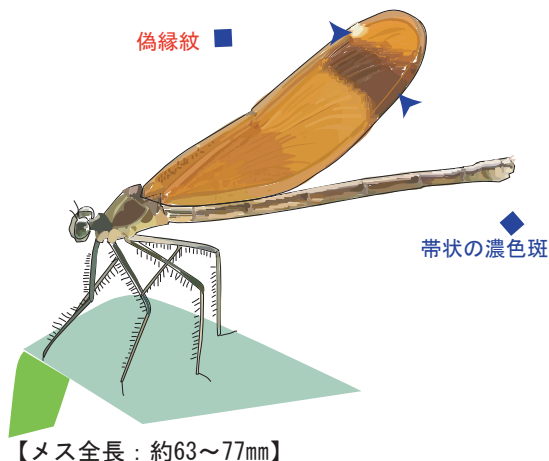
翅を閉じて止まるトンボの中では日本一大きい日本特産種の**ミヤマカワトンボ**。メタリックな金属光沢を放つ、美しい体をもつのはオス。薄茶色の翅に濃い茶色の帯が目立つのがメス。

オスは水辺の石や植物の葉上に止まって縄張りもち、オスが侵入するとスクランブルをかけ、向かい合って威嚇したり追尾したりして追い払います。メスが現れると腹部先端の黄色い部分を見せ、時に水面に浮かび、数秒流されるという求愛行動をして近づきます。

メスには翅に白いゴマ粒みたいな紋（偽縁紋）があるので、遠くからでも区別がしやすいです。

メスは、浅い水中の植物組織内に卵を産みます。完全に潜水して産卵することもあり、なんと1時間近くも潜って産卵を行った記録があります。また、翅を大きく広げ、お腹を突き上げているメスは、オスの求愛を拒否しているサインです。



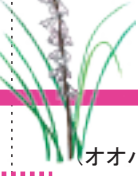









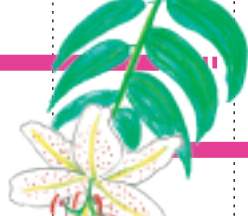
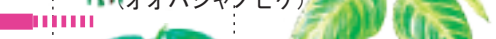
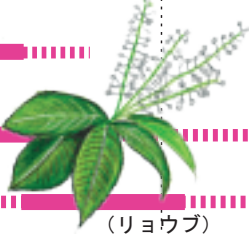


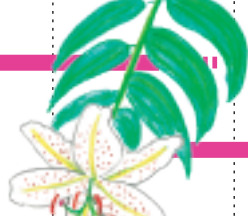

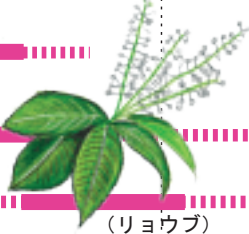


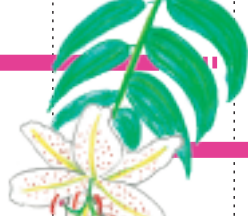

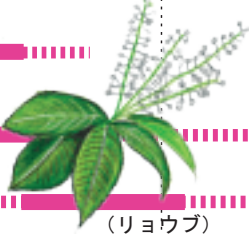


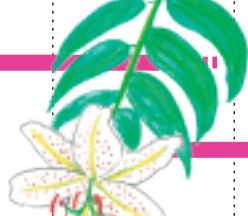

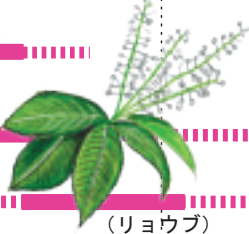


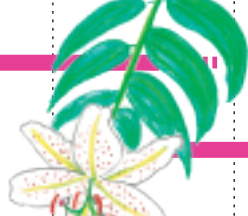

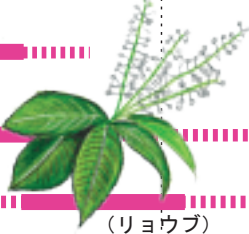
今月は、川に注目していると、このような行動が観察できるかもしれませんね。



【レンジャー：黒川周子】

# 7月の生物ごよみ





















## 植物

|          | 6月  |   | 7月  |  | 8月   |  |
|----------|---|---|---|--|--|--|
|          | 下旬  | 月上旬   | 中旬  | 下旬   | 月上旬  |  |
| オカトラノオ   |  |  |  |  |  |  |
| オオバジャンジゲ |  |  |  |  |  |  |
| ムラサキシキブ  |  |  |  |  |  |  |
| クマノミズキ   |  |  |  |  |  |  |
| ヤマユリ     |  |  |  |  |  |  |
| ネジバナ     |  |  |  |  |  |  |
| リョウブ     |  |  |  |  |  |  |

ヤマガラやシジュウカラの幼鳥は巣立ちを終え、ひとりで一生懸命エサを探していました。枝にとまり一枚づつ葉っぱをめくって大きなイモムシをゲット！羽の色がまだ薄く、初々しい感じがとてもかわいいです。

甘えん坊のツバメの子はセンター前の枝にとまり親がエサを運んでくるのをじっと待っています。親が戻ってくると、われさきにと親の前まで飛んでいきエサをもらっていました。そんな様子が目につく初夏の森にどうぞお出かけください。

## 動物

|        | 6月  |  | 7月   |  | 8月   |  |
|--------|---|--|--|--|--|--|
|        | 下旬  | 月上旬  | 中旬   | 下旬   | 月上旬  |  |
| ゲンジボタル |  |   |   |  |  |  |
| ニイニイゼミ |  |   |   |  |  |  |
| オオムラサキ |  |  |  |  |  |  |
| オニヤンマ  |  |  |  |  |  |  |

【レンジャー：齋 正宏】

森で見つけた！

## 今月のはっけんメモ

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思います。

### はっけんメモ その2 『森の職人～ウスタビガの幼虫～』

冬の森でよく目立つ、ウスタビガが作った黄緑色の空家になったまゆ。よく見るとまゆの外側に前年メスが産み付けた卵がついていることがあります。

ウスタビガの幼虫を飼育して、幼虫がまゆを作る様子を観察してみました。

4月、卵で冬を越したウスタビガの幼虫がかえり、

5月、幼虫はむしゃむしゃ葉っぱを食べて、どんどん大きくなり、

6月、脱皮をくりかえしたウスタビガの幼虫は終齢幼虫になりました。

一齢幼虫（卵からかえったばかり）



脱皮を4回繰り返して終齢幼虫になります。

ウスタビガの終齢幼虫は、びっくりすると”キューキュー”と音を出します。

左右の足の裏をマジックテープのようにくっつけて葉っぱにしがみつきます。

終齢幼虫は十分に大きくなると、まゆを作り始めます。数時間でまゆの形が出来上がり、疲れるとお休みして、2日かかりで完成させているようです。



蚕やウスタビガなど糸を出してまゆを作る幼虫は、口についている吐糸管（としかん）という器官から糸を出します。自分の体の周りを糸で塗り固めていくように、頭を八の字に動かしながら丁寧にまゆを作っていきます。時おり体を糸の壁に押し付けて、中の空間を広げているようです。ウスタビガの繭は上部に出口用の穴があり、この穴をぴったり閉じるとまゆの完成です。



ウスタビガのまゆは 頑丈な糸でぶら下がり、上部が平で下部には小さな穴があいています。設計図もないのに、みんな同じ形のまゆを作るなんて、とても不思議ですね。

【レンジャー：河合 遥】

羽化するのは秋になってから。まゆの中で蛹を作り、そのときを待っています。



『ウスタビガ（薄手火蛾、薄足袋蛾）』ヤママユガ科 枝先に黄緑色をした独特の形のまゆを作る。

成虫は8～11cmにもなる大型種。

黄色っぽいのがメスの個体。オスは茶色が強い。



## 新人レンジャーの巡回日記



今回の初めては、ある鳥のことについてです。「であいの道」の尾根を巡回していると、少し離れた所から「キョッ、キョッ、キョッ、」と鳴く声が・・「何の鳥かな？」と思いつつも歩き続けると今度は、「ヒョー、ヒョー」と大きな声で鳴く鳥が・・・そこで先輩レンジャーに尋ねると、「それは、アオゲラだね、キツツキのことだよ」とのことでした。「なるほど」・・・「えっ！」キツツキってそういう名前の鳥じゃないの？と思いながら観察センターに戻り、調べてみると「無い！無い！」キツツキという名前の鳥がどこにもない。なんと！キツツキとは、キツツキ科の鳥の総称のことで、日本では、キツツキと言う名前の鳥は存在しないのだそうです。自然観察の森では、この他にコゲラやアカゲラという種類の「キツツキ科」の鳥を見ることができます。



アカゲラ



アオゲラ



コゲラ



## イベントの報告

6月14日（土）に、「深緑の太古の森をたずねて」と題しての鉤取山ハイクのイベントが行われました。当日は講師の大友氏より、森林にまつわることを織り交ぜながら植物や昆虫のこと等について話していただき、深緑の林の中の雰囲気を感じながら気持ち良く歩くことができました。



※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、イベントのお知らせの覧でご確認下さい。



【レンジャー：鷺 千尋】

※アカゲラは、「キョッ、キョッ、キョッ」と鳴き、アオゲラは、「キョッ、キョッキョッ」とも「ヒョー、ヒョー」とも両方鳴きます。



# 7月

## のイベント & お知らせ

### ◆『キッズ昆虫たんけん隊』7月12日(土) 10:00～12:00

・昆虫を捕まえ、スケッチして、じっくり観察をします。

【定員】定員15名 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・雨具・捕虫網・帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】Eメールか往復はがきで7月10日(木)必着〔応募多数時は抽選〕

### ◆『かんさつ!たんけん!夜の森』7月12日(土) 19:00～20:30

・夜の自然観察の森を探検します。

【定員】定員20名 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・長靴・雨具・懐中電灯・虫よけなど

【申込み】7月6日(日)午前9時から電話で受付〔先着〕

### ◆『キノコと森のふしぎ観察会』7月19日(土) 10:00～11:30

・キノコと森の生き物の不思議な関係を観察します。

【定員】定員20名 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・雨具・帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】7月8日(火)午前9時から電話で受付〔先着〕

毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

7月の開催日は

6日、13日、20日、27日です。

開催時間:午前 10:00～11:30

午後 13:30～15:00

◎27日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。  
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

イベント申込用



7月の休館日

7日、14日、  
22日、28日

### ♪森へおいでください♪



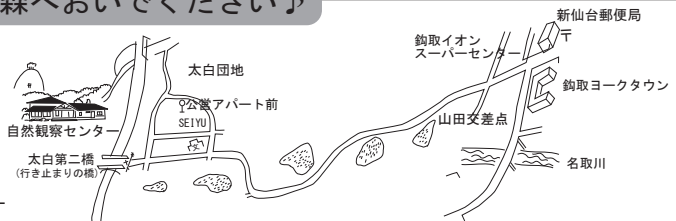
#### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました!  
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2014年7月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail:taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL:<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>